命つないだ「保命水」：
旧北国街道の街並みを潤すため先人達が木管で引いた井水

撮影：2012年6月（長野県・上田市柳町）

◆旧北国街道の上田市柳町

旧街道沿いには格子造りや蔵造りの家々が軒を連ねています。矢出沢川に架かる橋周りのマツやヤナギのシンボル樹からは街道宿場町としての往時の面影が感じられます。

◆明治百年を記念して復元された井水（柳町自治会）

明治14年（1881）先人達が海禅寺の境内に湧き出る清水を木管で引き、2か所に蛇口管を設置して町中の生活用水や非常用水として使用されました。「保命水」は上田初の水道水と言えるでしょう。

国土文化研究所　特任研究員　岡村幸二（JRRN会員）